

教 育 委 員 会 4 月 定 例 会 (書 面 審 議) 会 議 録

1. 書面審議の経緯

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教育委員会4月定例会については、書面審議にて執り行うこととした。

2. 書面審議の日程

(1)開催通知の送付	令和2年4月17日(金)
(2)資料の送付	令和2年4月24日(金)
(3)質疑の受付期間	令和2年4月24日(金)から4月27日(月)
(4)質疑回答・議決書の送付	令和2年4月28日(火)
(5)議決書の受付期間	令和2年4月28日(火)から4月30日(木)
(6)議決日	令和2年4月30日(木)

3. 参加委員

教 育 長	井 坂 隆
職務代理者	今 野 登 喜 子
委 員	松 延 芳 子
委 員	鈴 木 敏 之
委 員	長 沼 早 苗

4. 動議の提出者

教 育 総 務 課	藤 井 徹	学 務 課	田 中 裕 之
文化生涯学習課	中 澤 達 也	ス ポ ー ツ 振 興 課	根 本 卓 也
指 導 課	中 山 弘	図 書 館	大 貫 三 千 夫

5. 議 題

(1) 議 案

議案第1号 土浦市立学校事務の共同実施に係る中心校及び連携校の指定等について
(教育総務課)

議案第2号 土浦市社会教育指導員設置規則の一部改正について (文化生涯学習課)

議案第3号 土浦市スポーツ推進委員の解職及び補欠による委嘱について
(スポーツ振興課)

(2) 報 告

① 令和2年度当初予算計上漏れに伴う対応について
(教育総務課・文化生涯学習課)

② 土浦市手野町地内で発生した公用車に係る物損事故の和解について
(教育総務課) (非公開)

- ③ 土浦市中高津二丁目 1 番地内で発生した公用車に係る物損事故の和解について
(学務課) (非公開)
- ④ 土浦市立幼稚園の園児数の推移について (学務課)
- ⑤ 土浦市立幼稚園における給食の実施に関する要綱の一部改正について (学務課)
- ⑥ 第 6 回土浦市上大津地区適正配置検討委員会の開催結果について (学務課)
- ⑦ 土浦市放課後子供教室推進事業実施要綱の一部改正について (図書館)
- ⑧ 土浦市青少年健全育成事業補助金交付要項の一部改正について (図書館)
- ⑨ 土浦市立学校児童生徒各種大会参加等補助金交付要項の一部改正について
(文化生涯学習課)
- ⑩ 令和 2 年度一般会計補正予算の専決処分について (学務課) (非公開)

(3) そ の 他

- ① 土浦市学校給食センター建築主体工事での事案について (学務課)
- ② 土浦市民会館ネーミングライツ事業について (文化生涯学習課)
- ③ 土浦市民会館のリニューアルオープンについて (文化生涯学習課)
- ④ 土浦ロータリークラブによる「本の通帳」の寄贈について (図書館)
- ⑤ 令和 2 年度土浦市学校教育指導方針について (指導課)

6. 質疑及び回答

議題に対し、受け付けた質問及び回答は次のとおりである。

件名	教育長予定報告（令和 2 年 3 月から令和 2 年 4 月）
質問①(今野委員)	寄贈されたマスクの配布はどのようになされたのか。
質問②(鈴木委員)	土浦ライオンズクラブより寄贈された 10 万枚のマスクの配分先を教えてください。
回答(教育総務課)	令和 2 年 4 月 1 日に土浦ライオンズクラブより寄贈されたマスク 10 万枚につきましては、土浦ライオンズクラブより、市内の小中学生にマスクを配布いただきたいと申し出がありましたので、この寄贈の趣旨に基づき配布いたしました。 配布先は、市内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校（小学部・中学部）、公立幼稚園、公立保育所、民間保育所、認定こども園、地域型保育、民間幼稚園といたしました。配布総数は 74,180 枚（配布児童生徒数 14,836 人、一人当たりの配布枚数 5 枚）となっております。また、配布は各学校・施設の始業式に行いました。 なお、残りのマスクにつきましては、市内の高齢者にも配布いただきたいと土浦ライオンズクラブから申し出があったため、土浦市高齢福祉課より、市内在住の高齢者の方へ配布をいたしました。

件名	議案第2号 土浦市社会教育指導員設置規則の一部改正について (文化生涯学習課)
質問(長沼委員)	土浦市における当年度の社会教育指導の予定を教えてください。
回答 (文化生涯学習課)	社会教育指導員は、地区公民館8館に1人ずつ配置されている会計年度任用職員です。 役割は、①地域の社会教育に関する諸事業の指導、②学習団体の育成や公民館利用者への相談や指導などです。 主な業務は、次の①～⑥のとおりです。 ①講座の企画や運営(春:5～9月・秋:10～2月の公民館講座) ②同好会やサークルの指導、育成 ③コミセン(公民館)まつりの指導及び準備や運営(10月～12月) ④家庭教育学級活動の支援や親力アップ講座の講師(5月～2月) ⑤地区市民委員会活動の企画や運営:担当は市民活動課 ⑥青少年育成事業としてチャレンジクラブの企画・運営 (5月～2月の間で10回程度実施):担当はこども福祉課 ※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止又は延期となっている事業があります。

件名	報告事項(1)令和2年度当初予算計上漏れに伴う対応について (教育総務課)
質問(長沼委員)	小学校は平成30年からLED照明に更新されていることから、令和元年から経常予算への組入れが可能ではなかったのでしょうか。また引き続き中学校も更新することが決定した時点での経常予算へ組入れできれば、計上漏れが予防されるのではないのでしょうか。
回答(教育総務課)	小学校屋内運動場LED照明化事業につきましては、平成30年度政策予算の工事請負費にて予算計上をしましたが、工事によるLED化とリースによるLED化の費用を比較したところ、リースによる方が費用の削減が可能だったため、リース料へ予算の付け替えを行い、LED化を実施いたしました。 令和元年度におきましては、平成30年度の6ヵ年事業実施計画において、小・中学校屋内運動場LED照明化事業として、中学校においてもリースによるLED化が決定したことから、小・中学校屋内運動場LED照明化リース料を政策予算として予算化いたしました。 小中学校ともに、令和2年度から経常経費として予算要求することが決定しておりましたが、結果的に、令和2年度の予算編成時に計上漏れとなってしまうまいりました。

件名	報告事項(1) 令和2年度当初予算計上漏れに伴う対応について (文化生涯学習課)
質問(長沼委員)	令和2年から経常経費となるので、今後はこの駐車場費用が毎年発生し、一般来場者の駐車場無料化が継続するのでしょうか。
回答 (文化生涯学習課)	図書館及び市民ギャラリーの利用者につきましては、平成29年11月の開館以来、アルカス駐車場・駅西駐車場は最大2時間、駅東駐車場については最大3時間を無料としております。 今後につきましても、施設利用者の利便性を図り、駅前の活性化に寄与するため、同様の無料化措置を継続する予定です。

件名	報告事項(2) 土浦市立幼稚園の園児数の推移について(学務課)
意見(今野委員)	支援を要する園児の割合が高いことから、これまでも支援員の配置等で手厚い配慮はされていると思います。一方で、それ以外の園児について、少人数に対する教育活動の工夫(二園合同の活動等)が望まれます。
回答(学務課)	ご指摘のとおり、配慮が必要な園児の割合が高いことから、土浦幼稚園に4名、新治幼稚園は1名というように特別支援教育支援員を配置しております。 土浦幼稚園と新治幼稚園を合わせた園児数は45人ですが、新治幼稚園に至っては5歳児が5人であるため、適切な環境の中で基本的生活習慣の習得が難しい状況にあります。 このため、土浦幼稚園と合同で教育活動や運動会、生活発表会などを実施し、幼児教育の機会が十分に確保できるようタクシーなどで移動する予算措置を講じておりますのでよろしくお願い致します。

件名	報告事項(4) 第6回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催結果について(学務課)
質問(鈴木委員)	上大津東小学校児童数の見込みが穏やかになってきているとのことですが具体的な数字があれば教えてください。また、それは統合の目標年度を遅らせるほどの減少となるのか教えてください。
回答(学務課)	上大津地区小学校適正配置の検討を再開した平成29年度時点では、おおつ野地区に土浦協同病院が移転する時期であったため、上大津東小学校の児童数見込みをおおつ野地区の人口の推移に基づき各学年1年間に3人増加するという予測を行っており、また、学校施設の許容能力から統合する目標年度を令和6年度と想定しておりました。 しかし、土浦協同病院移転後の現在の人口推移を見ますと、1年間で平均30人程度の減少が見られ、上大津東小学校の児童数見込みは各学年1年間に

	2.5 人増加する予測となります。 このデータから再予測しますと、令和 9 年度までには統合が必要となる見込みとなりますが、支援学級などが増設となる場合には令和 9 年度前に対処する必要があります。
--	---

件名	報告事項(6) 土浦市放課後子供教室推進事業実施要綱の一部改正について (文化生涯学習課)
質問①(今野委員)	県の実施要項に於いて、「教育活動推進員」の名称を改めた理由について教えてください。
質問②(松延委員)	学校休業日の実施について、特別教室を使用する場合もあるようですが、その際の開錠は学校関係者が行うのでしょうか。また、児童の送迎についてのルールを明確にし、安全面の十分な留意が必要になると思いますが、どのような対応になるのでしょうか。
質問③(長沼委員)	現在のところ、放課後子供教室について、活動の計画があれば教えてください。未定状態であれば、計画策定後に速やかな公表をお願いします。
回答 (文化生涯学習課)	質問①について 県の実施要項に合わせたものとなっており、地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくことから「教育活動推進員」を「<u>協働活動支援員</u>」と名称を改めたものです。 質問②について 放課後子供教室については、授業終了後を基本として実施するものですが、学校休業日に実施する場合は、体育館、校庭、児童クラブ室等を想定しており、特別教室を利用する予定は現在のところございません。 送迎につきましては、児童クラブの利用と同様に、ご家庭による送迎を考えております。 質問③について 令和 2 年度の放課後子供教室については、土浦小、下高津小、東小、大岩田小、荒川沖小、中村小、土浦第二小、上大津東小、神立小、右廻小、都和南小、乙戸小、新治学園義務教育学校に都和小学校を加え 14 校で 6 月から 2 月で実施を予定しております。活動計画については、月毎、学校毎に委託先より参加登録児童に案内する予定であり、現在計画を策定中ですが、新型コロナウイルスの影響で、内容及び開設時期が変更されることも考えられます。

件名	その他(1) 土浦市学校給食センター建築主体工事での事案について (学務課)
質問(長沼委員)	測定により「アスベスト含有せず」の結果であっても、砕石を撤去したのは、給食センター路盤に使用されることを鑑みて慎重に取り扱ったためでしょうか。またこのことにより経費の増加があるのでしょうか。
回答(学務課)	工事監督員の承諾を受けた採石場のものではない砕石が搬入されたため、アスベスト含有の有無にかかわらず、搬入された砕石を現場から撤去したものです。また、本案件に掛かる撤去費用については、請負者負担のため、建築工事費の増加はありません。

件名	その他(4) 土浦ロータリークラブによる「本の通帳」の寄贈について (図書館)												
質問①(松延委員)	対象年齢を拡大してからの新規登録者数は(乳幼児と高校生の内訳含む)どれくらいでしょうか。コロナ感染拡大の影響で3月より閉館しているので約3か月間で、という事にはなりますが、乳幼児の利用を切望していたので気になるところです。 また、1人当たりの通帳利用冊数の制限は設定しているのでしょうか。												
質問②(鈴木委員)	現在の配布状況で、通帳 5000 冊は、どのくらいの期間供給可能と考えられますか。また、今後通帳の配布対象を拡大する予定はありますか。												
回答 (文化生涯学習課)	質問①について 対象年齢拡大以降(R1. 12. 1～R2. 3. 8)の新規登録者数は下表のとおりとなり、新規登録者の約 73. 4%が乳幼児です。 <table><tr><td></td><td>0-6 歳</td><td>7-12 歳</td><td>13-15 歳</td><td>16-18 歳</td><td>合計</td></tr><tr><td>新規登録者数</td><td>232 人</td><td>77 人</td><td>7 人</td><td>0 人</td><td>316 人</td></tr></table> また、1人あたりの通帳利用冊数に制限は設けておりません。現在、17人(全て小学生)が繰越(2冊目)をしております。 質問②について 当初計画では隔年ごとに5千冊(2.5千冊/年)の増刷を計画しておりました。現時点では、1.3千冊/年の配布状況ですので、多少の増加を想定しても3年間は供給可能と考えております。 今後の通帳の配布対象拡大につきましては、市民の方からもご意見をいただいておりますので、今後の検討課題と考えております。 しかしながら、本の通帳サービスは、子どもの読書推進という事業の趣旨にご賛同いただいた協賛の皆様のご協力により開始したもので、かつ、昨年12月に未就学児と高校生を対象を拡大したばかりなこともありますので、当面のところは、事業の推移等を見定めてまいりたいと考えており		0-6 歳	7-12 歳	13-15 歳	16-18 歳	合計	新規登録者数	232 人	77 人	7 人	0 人	316 人
	0-6 歳	7-12 歳	13-15 歳	16-18 歳	合計								
新規登録者数	232 人	77 人	7 人	0 人	316 人								

回答 (指導課)	質問②について 茨城県教育委員会は、「いばらきオンラインスタディ」という学年ごと、教科ごとの授業動画を作成し、県教育委員会のHPに掲載しました。本市では、この授業動画の活用について、全ての児童生徒に周知しました。（土浦市教育委員会は、5月に学習する中学校数学の授業動画の作成について依頼を受けています。）また、市独自に「eライブラリ」というオンライン学習ソフトを昨年度までに全学校に導入し、全児童生徒が自宅でオンライン学習ができるようになっています。 しかし、インターネット環境が整っていない家庭への配慮も必要であることから、学校が配付したプリントやドリル教材を中心に家庭学習を進めています。近い将来は、各家庭のインターネット利用状況を確認しながらオンライン学習の導入について、対応を進めて参ります。
---------------------	---

7. 書面審議の結果

すべての審議事項について承認を得たため、原案どおり可決。